

陶磁器
製造業

和にも洋にも溶け込む、
たくさんの人に愛される器を目指して。

株式会社 和山



株式会社 和山
東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷2200-1
TEL.0956-85-2471
FAX.0956-85-6548
<http://www.wazangama.co.jp/>
✉ wazan@plum.ocn.ne.jp
代表取締役 / 廣田和樹
設立 / 1967年2月24日
資本金 / 20,000,000円
業種 / 陶磁器製造業
従業員数 / 47名

焼きものの町・波佐見町で日用食器、業務用食器、ギフト商品、共同企画商品の製造・販売を行う。コンセプトは「30代～40代の女性が普段づかいで楽しめる器、食卓をオシャレに演出できる器」。オリジナルの日用食器シリーズは、和洋を内包した使いやすいフォルムに、古典的な絵柄デザインを現代的にアレンジした新感覚の器で、多くの女性に支持されている。

補助事業の内容と成果

外食産業用食器分野へ
販路拡大するため、
両面印刷技術を活用した
高精度絵付製品の開発事業

事業のきっかけ

外食産業が店舗拡大する中、各企業のロゴ入り食器の需要が大きく伸びている。しかし従来の生産体制では、手間も人員もかかり、大量生産は難しい。波佐見焼がこの市場に進出するためには、少人数で高品質な絵付製品を大量に生産できる絵付工程の構築が必要であった。

事業内容・成果

これまでは片面用のエアードライブ式パッド印刷機を2台使用していた。これはそれぞれの印刷機に素焼きを設置して、内絵と外絵を別々に2回印刷する必要があり、2名の人員を要した。今回導入したのは、両面用サーボモーター式パッド印刷機。これにより表裏全ての印刷を従業員1名で、短時間で生産できるようになった。また印刷精度の向上により、受注先から求められるクオリティーもクリア。高品質の商品を大量に生産することに成功した。しかも機械の設置スペースがこれまでの半分で済むことに加え、印刷後の品物を次の工程に直接送ることができるようになったため、製品をストックする必要がなく、工場内の敷地の有効活用にもつながった。

今後の展望

近年、波佐見焼は若い世代を中心に、全国的に知られるようになった。今後は今回導入した設備を活用して自社のブランド商品の開発に力を入れ、日本中の食卓で愛される食器づくりを目指していきたい。

ものづくり補助金活用

生産個数 約1000個/1日

▶ 約2000個/1日

印刷時間が40%短縮できたことで、生産量が2倍にアップ。さらに作業員1名の削減、工場の省スペース化も実現できた。



ものづくり補助金・成果事例

